2026 年度第 2 学期 開講ゼミ　シラバス（田仲ゼミ）

科目名　近代小説を読む	サブタイトル　川端康成『山の音』について考える
	担当教員　田仲 洋己 専門分野　日本文学

● 授業の到達目標及びテーマ

過去 4 年間のゼミでは、『新古今和歌集』『源氏物語』といった古典文学について考えて来ましたが、最終年度の今年は近代の小説を取り上げます。第１学期は志賀直哉の『暗夜行路』を読みましたが、第 2 学期は川端康成の名作『山の音』を取り上げます。この作品は映画化（成瀬巳喜男監督、昭和 29 年）もされていますので、そのＤＶＤを視聴し、小説と映画との関りについても考えてみる予定です。私にとっては専門外の時代・作品ではありますが、皆様とともに自由に討議して行くゼミのスタイルで、様々な角度から作品世界の内実を読み解いてみたいと考えています。

● 科目概要

これまでのゼミと同様、発表担当者による報告を踏まえて参加者全員で意見を交換、討議するというスタイルで、授業を進めます。初回の授業では、ゼミの狙いと今後の進行について御説明した上で、各回の発表担当者を決定します。第２回目以降の授業では、担当者の報告を踏まえて自由に討議します。映画の視聴は、第３回目のゼミでと考えています。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	10 月 16 日（金） 13:30～15:00	今回のゼミの狙いと進行予定、発表順の決定
第 2 回	11 月 13 日（金） 13:30～15:00	担当者の報告とそれを踏まえての討議
第 3 回	12 月 11 日（金） 13:30～15:00	映画『山の音』鑑賞
第 4 回	1 月 15 日（金） 13:30～15:00	担当者の報告とそれを踏まえての討議
第 5 回	3 月 12 日（金） 13:30～15:00	担当者の報告とそれを踏まえての討議

テキスト

◆『山の音』の共通のテキストとして新潮文庫を利用しますので、事前に必ず入手して、ゼミ当日に御持参ください。なお、新潮文庫版『山の音』は平成 22 年 8 月発行の第 96 刷で改版されていますので、それ以前の版ではページ建てが異なります。新規に入手される場合には、なるべく第 96 刷以降のものを購入してください。各回の発表資料については、担当者の方が作成されたファイルを事前に提出していただき、それを印刷して参加者の皆様に配付致します。

参考書・参考資料等

◆川端康成や『山の音』に関する研究書・研究論文は多数ありますので、適宜御参照ください。ただ、今回のゼミでは、従来の研究史にはあまりこだわらずに、自由な視点から作品世界の在り方を分析することに重点を置きたいと考えています。

◆ゼミ生募集（教員メッセージ）

担当教員の本来の専門は『新古今和歌集』を中心とする中世前期の和歌文学研究で、近現代文学については素人同然ではありますが、文学テキストを読み解く面白さに関しては、古典と近現代作品との間に差異があるわけではありません。皆様と一緒に自由な読書会形式で、近代小説作品の諸問題について考える時間を持ちたいと思います。奮って御参加ください。

2026 年度第２学期 開講ゼミ　シラバス（加来田ゼミ）

科目名　セルフメディケーションを学ぶ 2026（２）	サブタイトル　栄養学の基本としくみを理解する
	担当教員　加来田博貴 専門分野　医薬化学

● 授業の到達目標及びテーマ

これまでのゼミでは、薬の理解を目指した学びを行ってきました。本年度は、人体の仕組みと働きの基礎を理解し、健康維持に必要な栄養素や、栄養と病気との関係について学びます。栄養素の基本的な性質とはたらきを理解し、それらが健康、美容、加齢、疾病予防にどのように関与しているかを説明できるようになることを目指します。あわせて、栄養学の知識を日常生活や自身の健康管理に活かす視点を養うことをテーマとします。

● 科目概要

本ゼミは、テキスト『よくわかる 栄養学の基本としくみ』を用い、栄養学を初めて学ぶ受講者を対象に基礎から学ぶゼミ形式の授業です。前期に学習した栄養学の基本概念、消化・吸収の仕組みをもとに、後期はビタミンについて理解を深めます。講義に加えてディスカッションを取り入れ、栄養と健康、生活習慣との関係を具体的に考察し、ゼミ生が各自それぞれの実生活に応用できる力を養います。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	10 月 11 日（日） 13:00～14:30	**オリエンテーション** **前期の復習** **ビタミンのはたらき（1）** ビタミンの発見
第 2 回	11 月 15 日（日） 13:00～14:30	**ビタミンのはたらき（2）** ビタミン A・ビタミン D・ビタミン E・ビタミン K
第 3 回	12 月 13 日（日） 13:00～14:30	**ビタミンのはたらき（3）** 水溶性ビタミンとは・ビタミン B1・ビタミン B2・ビタミン B6
第 4 回	1 月 10 日（日） 13:00～14:30	**ビタミンのはたらき（4）** ビタミン B12・葉酸・ナイアシン
第 5 回	3 月 14 日（日） 13:00～14:30	**ビタミンのはたらき（5）** パントテン酸・ビオチン・ビタミン C

テキスト

◆図解入門 よくわかる栄養学の基本としくみ［第 2 版］　（単行本）　ISBN：9784798069968

https://www.shuwasystem.co.jp/book/9784798069968.html

参考書・参考資料等

◆登録販売者　テキスト & 問題集（石川達也著）改訂３版　ISBN：9784046072252

◆薬のしくみとはたらき事典（丸山 敬 著）ISBN：9784816367564

◆絵でわかる薬のしくみ（船山 信次 著）ISBN：9784065179871

◆加来田ゼミ生募集（教員メッセージ）

参加者の皆さんがとてもやる気に満ち、楽しい時間を共有できました。進め方は、テキストを詳細に読むよりも、重要なポイントを押さえつつ、分かりにくい部分を解説していくスタイルです。途中で質問があれば気軽にどうぞ。ゼミ生が自由に意見を出し合える場を重視したいので、進行はゆっくりとしたもの・内容も変化したものになるかもしれません。繰り返し学習したい方も歓迎です。

岡山 SC

2026 年度第 2 学期 開講ゼミ　シラバス（劔持ゼミ）

科目名　V. ウルフ『私ひとりの部屋』を読む	サブタイトル
	担当教員　劔持　淑 専門分野　英語・英文学

● 授業の到達目標及びテーマ

1929 年 10 月に出版されたヴァージニア・ウルフ（Virginia Woolf, 1882-1941）の評論『私ひとりの部屋』を読み、女性と文学の関係について作家がどのような思考過程を経て、「女性が小説なり詩なりを書こうとするなら、年に 500 ポンドの収入とドアに鍵のかかる部屋を持つ必要がある」と主張するに至ったのかを学ぶ。

● 科目概要

ヴァージニア・ウルフは、1928 年 10 月にケンブリッジの女子学寮のニューナム・カレッジとガートン・カレッジで「女性と小説」について講演を行っている。『私ひとりの部屋』（*A Room of One's Own*）はこの講演の草稿を 1 冊の本にまとめたものである。精神的独立と経済的自立が創作活動には不可欠であるという主張にいたるまでに披露される時代の思潮（家父長制社会の女性への影響など）についても考える。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	10 月 8 日（木） 10:30～12：00	作家ヴァージニア・ウルフの人生と作品について 『私だけの部屋』*A Room of One's Own* 第１章を読み始める。
第 2 回	11 月 12 日（木） 10:30～12：00	*A Room of One's Own* 第２章と第３章を読む。
第 3 回	12 月 10 日（木） 10:30～12：00	*A Room of One's Own* 第４章を読む。
第 4 回	1 月 28 日（木） 10:30～12：00	*A Room of One's Own* 第５章を読む。
第 5 回	3 月 4 日（木） 10:30～12：00	*A Room of One's Own* 第６章を読む。発表と意見交換

テキスト

◆　Virginia Woolf, *A Room of One's Own, Three Guineas* (Oxford World's Classics) (2000 年)（ペーパーバック）　他の版でも結構ですので、各自で入手しておいてください。

参考書・参考資料等

◆　ヴァージニア・ウルフ著　村松加代子訳『私ひとりの部屋』（松香堂書店）

◆　ヴァージニア・ウルフ コレクション　川本静子訳『自分だけの部屋』（みすず書房）

◆ 劔持ゼミ生募集（教員メッセージ）

本ゼミでは、*A Room of One's Own* を読みます。当時の男性優位の社会における女性と小説について作家の思考過程をたどり意見交換しながら時代思潮と作家の主張を検討します。学生の主体性を尊重しつつ、助言する立場で指導にあたります。

2026 年度第 2 学期 開講ゼミ　シラバス（斎藤ゼミ）

科目名　身体を健やかに保つ、血圧のはなし	サブタイトル
	担当教員　齋藤　昇 専門分野　動物生理学

● 授業の到達目標及びテーマ

「高血圧」という言葉は、みなさんよく聞かれることかと思います。その「高血圧」を理解するために、循環器系の心臓および血管系の基本的な知識知識が少しでも身につけることを目標とします。

● 科目概要

「高血圧」は全身の血管や心臓、脳、腎臓などに悪影響を及ぼし、日本の高血圧に起因する脳心血管病死亡者数は年間 10 万人に上ると推定されます。高血圧は適切に管理すれば、これらの病気にかかる確率を下げることができます。そのために、心臓および循環器系が私たちの健康維持にどのような役割を果たしているのかを一緒に勉強したいと思います。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	10 月 7 日（水） 13:30～15:00	心臓・血管の組織・機能
第 2 回	11 月 4 日（水） 13:30～15:00	血圧のメカニズム
第 3 回	12 月 2 日（水） 13:30～15:00	動脈硬化のメカニズム
第 4 回	1 月 6 日（水） 13:30～15:00	生活習慣と高血圧
第 5 回	2 月 3 日（水） 13:30～15:00	高血圧の予防と治療

テキスト
三瀬　直文　監修　「やさしいカラー図解　高血圧・動脈硬化」株式会社法研　ISBN978-4-86756-096-9
1800 円＋税

参考書・参考資料等
◆

◆齋藤ゼミ生募集（教員メッセージ）

2026 年度第 2 学期 開講ゼミ　シラバス（堀内ゼミ）

科目名　思考の認知心理学	サブタイトル
	担当教員　堀内　孝 専門分野　社会心理学、認知心理学

● 授業の到達目標及びテーマ

思考に関する認知心理学の研究知見について，実験実習を通して経験的に学ぶ。

● 科目概要

思考の認知心理学の講義と実習を行う。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	10 月 2 日（金） 15:00～16:30	問題解決
第 2 回	11 月 6 日（金） 15:00～16:30	演繹推理
第 3 回	12 月 4 日（金） 15:00～16:30	帰納推理と創造的思考
第 4 回	1 月 8 日（金） 15:00～16:30	確率判断
第 5 回	2 月 5 日（金） 15:00～16:30	社会的推論（性格）

テキスト
◆毎回資料を配布します

参考書・参考資料等
◆なし

◆堀内ゼミ生募集（教員メッセージ）
心理学の概説や概論を履修していない人は，自分で勉強しておいてください。

2026 年度第 2 学期 開講ゼミ　シラバス（宮崎ゼミ）

科目名　日本語文法を学び直す２	サブタイトル　文法の歴史と変種
	担当教員　宮崎　和人 専門分野　日本語学

● 授業の到達目標及びテーマ

第 1 学期のゼミでは、大学生や社会人の教養として知っておくべき日本語の文法とはどのようなものかを考えました。それは、言語学の方法を使って、国語の時間に習った文法や私たちの身近にある現代標準日本語の文法を見直すということでした。第 2 学期のゼミでは、さらに視野を広げ、学校ではほとんど学ぶ機会のない、文法の歴史的変化や変種（地域差など）について考えていきます。

● 科目概要

文法の歴史的変化については、品詞論、形態論、統語論に分け、現代語と比較できるような枠組みを使って体系的に解説します。文法の変種については、時間の表現（テンス・アスペクト）を中心に、地域差やテクストタイプの違いによる変種を観察し、どのような原理によってそうした変種が生じたのかを解明していきます。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	10 月 6 日（火） 13:30～15:00	文法の歴史的変化：品詞論
第 2 回	11 月 24 日（火） 13:30～15:00	文法の歴史的変化：形態論
第 3 回	12 月 15 日（火） 13:30～15:00	文法の歴史的変化：統語論
第 4 回	1 月 12 日（火） 13:30～15:00	文法の変種：テンス・アスペクトの地域差
第 5 回	2 月 9 日（火） 13:30～15:00	文法の変種：テクストタイプとテンス・アスペクトの機能

テキスト
◆プリントを配布します。

参考書・参考資料等
◆工藤浩ほか著『改訂版　日本語要説』、ひつじ書房、2009 年、978-4894764682
◆衣畑智秀編『基礎日本語学　第 2 版』、ひつじ書房、2023 年、978-4823411953
◆工藤真由美著『アスペクト・テンス体系とテクスト―現代日本語の時間の表現―』、ひつじ書房、1995 年、978-4938669591

◆宮崎ゼミ生募集（教員メッセージ）
日本語は特殊な言語であり、ヨーロッパの言語とは仕組みがまったく違うとか、非論理的であいまいな言語であるといった話をよく聞きます。こうした認識を変えてくれるのが言語学の考え方です。私のゼミでは、言語学の手法を用いて、日本語の普遍性と多様性を探究していきます。第 2 学期のみの参加でも問題ありません。

2026 年度第 2 学期 開講ゼミ　シラバス（吉田ゼミ）

科目名　野菜の来歴と栽培	サブタイトル　イチゴ
	担当教員　吉田　裕一 専門分野　野菜園芸学

● 授業の到達目標及びテーマ

野菜に限らず作物は野生植物から選抜されて成立した。自然の環境変化に適応して次の世代を残してきた野菜たちの生態について想像しながら、来歴と成長過程について考えてみましょう。

● 科目概要

5 回のうち 2 回は農学部フィールド科学センターの野菜圃場を歩いて見学し，いろいろな季節の野菜などについてのフリートーキングを行います．そのほかに，来歴などのイチゴ栽培の歴史と果実の発育について話題提供します。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	10 月 13 日（火） 14:00～15:30	農学部フィールド科学センターの見学 14：00 岡山学習センター玄関前集合
第 2 回	11 月 10 日（火） 14:00～15:30	イチゴの来歴と栽培の歴史
第 3 回	12 月 8 日（火） 14:00～15:30	農学部フィールド科学センターの見学 14：00 岡山学習センター玄関前集合
第 4 回	1 月 26 日（火） 14:00～15:30	イチゴの花芽と果実の発育
第 5 回	2 月 2 日（火） 14:00～15:30	イチゴの奇形果発生

テキスト

◆　適宜配布します

参考書・参考資料等

◆◆野菜園芸学の基礎、篠原　温編著、農文協、ISBN978-540-11205-8（4,000 円+税）

◆図説園芸学（第 2 版）、荻原　勲編著、朝倉書店、ISBN978-254-41040-2（3,600 円+税）

◆吉田ゼミ生募集（教員メッセージ）

フィールド科学センター圃場の見学を交え、野菜の成長を見ながら知識を深めてもらいたいと思います。

2026 年度第 2 学期 開講ゼミ　シラバス（清水ゼミ）

科目名　小児期逆境体験 ACEs の基礎を学ぶ	サブタイトル　発達臨床心理学
	担当教員　清水 光弘 専門分野　発達心理学

● 授業の到達目標及びテーマ

第 1 学期に，子どもの発達にとっての重要な要因である親による養育について学びました。ACEs 研究は，成人の健康問題を端緒として，児童虐待を含むさまざまな劣悪な養育環境が人の活動，生活，健康に持続的に悪影響を及ぼすことを明らかにしてきました。第 2 学期では，ACEs が人の発達を阻害する現象の理解を目標にします。最終回には，ACE サバイバーへの支援について簡単に紹介します。

教科書的資料に加えて研究論文を読むことによって，ACEs 研究のより深い理解を目指します。

● 科目概要

発達は遺伝と環境の相互作用によって進展する，これは発達心理学の基本原理です。今年度の学習では，遺伝要因の影響の重要性を取り上げています。遺伝要因が発達に無関係ということではありません。

ACEs を理解するためには，生理学の知識が必要です。さらには，分子生物学と進化学とも関連した研究があります。私にとって専門外の領域ですが，理解できる範囲で教材として紹介する予定です。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	10 月 14 日（水） 13:30–15:00	ACEs の概要
第 2 回	11 月 11 日（水） 13:30–15:00	トラウマ，児童虐待との関連
第 3 回	12 月 9 日（水） 13:30–15:00	症状発生のメカニズム
第 4 回	2 月 10 日（水） 13:30–15:00	人間関係の問題
第 5 回	3 月 10 日（水） 13:30–15:00	支援

テキスト

各回，講義資料を配付します。

より詳しく学びたい方は，下記の文献をご自分で読んでください。

参考書・参考資料等

三谷はるよ（2023）．ACE サバイバー：子ども期の逆境に苦しむ人々　ちくま新書

ヘイズ=グルード&モリス（2020/2022）．小児期の逆境体験と保護的体験　明石書店

◆清水ゼミ生募集（教員メッセージ）

これまで，ゼミの学習内容は乳幼児の発達でした。今学期の主題は大人の臨床的問題です。これらの問題事態の成立過程は発達心理学の射程に入っており（発達精神病理学の人間発達に関するプロセスモデル），私にとって馴染みのある研究です。しかし，発達帰結としての大人の臨床的問題は専門外です。ACEs 研究は症状の発生過程に注目していることから，今学期の学習内容に選びました。したがって，ゼミで論じられることは帰結ではなく過程です。その点について予めご了承ください。

2026 年度第 2 学期 開講ゼミ　シラバス（谷口ゼミ）

科目名　漢方薬の使い分けを知る２	サブタイトル
	担当教員　谷口　抄子 専門分野　生薬漢方薬学・薬用植物学

● 授業の到達目標及びテーマ

１学期に続き疾患ごとに処方の使い分けについて知ることを目標として代表的な処方を学びます。配合されている生薬についてもその働きを学習します。

● 科目概要

西洋医学と漢方医学の違いや漢方の基本となる概念を説明します。疾患ごとに処方の使い分けについて、中心となる生薬により分類した処方群ごとの処方の学習を横軸に、漢方の概念（縦軸）を理解できるように進めていきます。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	10 月 22 日（木） 14:00～15:30	循環器系疾患での処方の使い分け
第 2 回	11 月 19 日（木） 14:00～15:30	腎・尿路系疾患での処方の使い分け
第 3 回	12 月 17 日（木） 14:00～15:30	婦人科系疾患での処方の使い分け
第 4 回	2 月 18 日（木） 14:00～15:30	皮膚の諸症状での処方の使い分け
第 5 回	3 月 11 日（木） 14:00～15:30	まとめ

テキスト

◆腹証図解漢方常用処方解説（三考塾叢刊） 改訂版　東洋学術出版社　高山 宏世（編著）　¥1,980
ISBN：9784904224588　各自で用意してください

参考書・参考資料等

◆生薬の働きから読み解く　図解　漢方処方のトリセツ　第 2 版　じほう　川添和義（著）　¥4,400
ISBN：9784840753777

◆基本がわかる漢方医学講義　羊土社　日本漢方医学教育協議会（編）¥2,420　ISBN：　9784758118750

◆谷口ゼミ生募集（教員メッセージ）

西洋医学とは異なる概念をもつ漢方医学ですが、その考え方を知ることで、自分の体調を西洋医学とは違った視点で眺めることができるようになると思います。実際に利用される処方について、配合されている生薬の働きや作用の違いなどを含めて学習します。漢方について一緒に学び、体調管理に役立てましょう。

2026 年度第 2 学期 特別ゼミ　シラバス（稲垣ゼミ）

科目名　「楽しく学ぼう　微生物の科学 Part 2」	サブタイトル　私たちの暮らしを支える微生物
	担当教員　稲垣賢二 専門分野　農芸化学

● 授業の到達目標及びテーマ

私たちは微生物の力を借りて発酵食品，お酒や抗生物質を製造してきました．食品分野，医薬分野以外でも，衣料，エネルギー生産，下水処理，洗練など幅広い分野で微生物が活躍していて，現代社会は微生物を利用せずには成り立ちません．人類はこれからも微生物を使って有用物質を生産し、直面する種々の問題を解決してゆくと思います．様々な微生物の利用法について学び，その特徴を理解できるようになる事を目標とします．

● 科目概要

人類は微生物の存在に気がつく前からワイン，ビール，チーズや，ヨーグルトを作ってきました。 微生物により生産される，発酵食品やお酒以外に，アミノ酸発酵，呈味性スクレオチドの生産(核酸発酵)，バイオエタノール製造，クエン酸発酵，乳酸発酵，医薬品製造，生分解性プラスチック製造，バクテリアリーチング，バイオレメディエーションなど，衣食住，あらゆるところで，微生物が活躍しています．これら微生物の能力を使った有用物質生産の現状，そのしくみを詳しく学びます。講義で学ぶとともに，参加者一人一人がテーマを決め，自主的に調べ，発表することで理解を深めます．学外研修も予定しています．

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	10 月 21 日（水） 14:00～15:30	概要紹介，Part 1 の振り返りと役割分担の決定
第 2 回	11 月 25 日（水） 14:00～15:30	微生物を使った有用物質生産 1　発酵食品とお酒
第 3 回	12 月 16 日（水） 14:00～15:30	微生物を使った有用物質生産 2　アミノ酸発酵，核酸発酵，クエン酸発酵
第 4 回	2 月 24 日（水） 14:00～15:30	微生物を使った有用物質生産 3　乳酸発酵とポリ乳酸， 生分解性プラスチック
第 5 回	3 月 17 日（水） 14:00～15:30	様々な分野への微生物の利用　バクテリアリーチング， バイオレメディエーション

テキスト

◆ 「おもしろサイエンス　微生物の科学」
日刊工業新聞社　ISBN978-4-526-07108-9　1760 円

参考書・参考資料等

◆ 「基礎から学ぶ　微生物学」　培風館　ISBN978-4-7581-2179-8　3960 円

◆稲垣ゼミ生募集（教員メッセージ）

現代社会の様々な分野で多面的に活躍している微生物による有用物質生産や利用の状況を学びます。
これまで 5 年間「お酒」「発酵食品」「応用微生物学」「ビタミン」などについて学んできましたが，今学期は微生物を利用した様々な発酵にまつわる科学の話を一緒に楽しく学びたいと思います。